

同 志 社 大 学

2013 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014 年 3 月 19 日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・コミュニケーション学部	教授	日野 みどり
研 究 題 目	配偶者との死別後のグリーフケアを日中両国で共有するための基礎的研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>上に挙げた研究題目は、申請者が研究代表をつとめて 2012 年度から 14 年度までの 3 年間にわたって実施する科研費挑戦的萌芽研究「配偶者との死別後のグリーフケアを日中両国で共有するための基礎的研究」（課題番号：24651280）の一部を構成するものである。</p> <p>2013 年度には、次の 4 点を実施した。</p> <p>1) 日本国内でグリーフケア活動を行っている団体の調査。NPO 法人リシングルファミリー広島（広島）を 2 回にわたって訪問し、関係者へのインタビュー調査を実施したほか、月例会に参加して講演を行った。</p> <p>2) 2014 年 3 月 3 日から 3 月 8 日まで、協力研究者・河合千恵子氏とともに北京において現地調査を行った。実施した項目は以下の通り。</p> <p>2-1 海外共同研究者・康越副教授（北京化工大学文法学院）および研究補助者（北京化工大学大学院生）との間で、今回の調査および今後の共同研究計画について打ち合わせを行った。</p> <p>2-2 高齢者支援団体「愛心伝通熱線」を訪問し、関係者へのインタビュー調査を実施した。</p> <p>2-3 地域コミュニティ（社区）の高齢者自助団体「司堃范志願者愛心工作室」を訪問し、関係者へのインタビュー調査を実施したほか、独居女性高齢者の月例交流会に参加した。</p> <p>2-4 文献資料の収集を行った。</p> <p>3) 2014 年 3 月 14 日から 3 月 17 日まで、上海において現地調査を行った。実施した項目は以下の通り。</p> <p>2-1 海外共同研究者・陸緋雲教授（上海财经大学人文社会学院）および研究補助者（上海财经大学大学院生）との間で、次年度の共同研究実施計画および最終年度の総括について打ち合わせを行った。</p> <p>2-2 文献資料の収集を行った。</p> <p>4) 年度を通じて国内外の資料収集を実施した。特に中国の文献資料については、上海および北京の研究補助者を中心に収集作業を進めたほか、雑誌論文データベース CNKI を活用した。</p> <p>また、2013 年度には以下のとおり論文 1 点・口頭発表 1 点の業績をあげた。</p> <p>日野緑、2014 年 2 月、〈为在中国建立化解丧偶悲痛（哀伤抚慰）的系统〉『【OUFC ブックレット vol.4】中国革命・社会変容と世界—贛州会議中国語論文選（日中台共同研究「現代中国と東アジアの新環境」③）』、pp.31-46。</p> <p>日野みどり、2013 年 11 月、「中国・上海におけるグリーフケア自助団体の一事例：NGO の活動と機能をめぐる初歩的考察」、アジア政経学会 2013 年西日本大会（於大阪市立大学）</p>	